

commons 30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2024年6月28日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2014年12月29日 ~ 2024年6月28日

基準価額

23,844 円

(前月末比)

△264 円 (△1.10%)

純資産総額

18.8 億円

(前月末比)

+0.0億円 (0.32%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	△1.10%
3ヵ月	△1.87%
6ヵ月	14.54%
1年	16.41%
3年	40.93%
5年	101.49%
10年	-
設定来	138.44%

分配金（1万口当たり、税引前）

決算期	分配金
2019年12月	0円
2020年12月	0円
2021年12月	0円
2022年12月	0円
2023年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンス30ファンドマザー	90.4
しずおかフィナンシャルグループ株式	8.1
現金等・その他	1.5
構成銘柄数	31社



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	22.1%
電気機器	16.6%
化学	15.3%
卸売業	8.1%
サービス業	7.0%
輸送用機器	6.1%
食料品	4.7%
情報・通信業	3.5%
金属製品	3.5%
その他製品	3.4%
小売業	3.3%
医薬品	2.3%
建設業	1.0%
陸運業	0.5%
その他	2.7%

未来コンセプト別比率

ウェルネス	17.4%
精密テクノロジー	16.9%
生活ソリューション	12.8%
快適空間	10.0%
新素材	9.8%
資源・エネルギー	9.1%
地球開発	6.9%
未来移動体	6.1%
社会インフラ	4.5%
ライフサイクル	3.8%
その他	2.7%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	5.0%
2 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	4.7%
3 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.7%
4 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	4.6%
5 日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、社会課題を解決する	4.5%
6 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.9%
7 シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.8%
8 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.8%
9 SMC	精密テクノロジー	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ	3.7%
10 コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	3.6%

※「業種別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

6月のファンドの月間リターンは▲1.10%の下落となりました。

◎運用責任者メッセージ

6月の内外株式市場では、日米の金融政策が注目されました。米国FOMC（米国連邦公開市場委員会）では、年内の利下げ見通しが後退しましたが、経済指標の軟化を背景にS&P500、ナスダックは史上最高値を更新しました。NVIDIAは、一時、時価総額で米国トップとなり生成AIブームのテーマの強さも確認されました。欧州では、フランスの政治情勢不安がリスクとして懸念されました。一方で、日本銀行は国債の買い入れの減額を7月に決定すると発表しました。株式市場は、金融政策の正常化を意識して銀行、保険などの金融株が堅調でした。ただ、為替市場は、金利上昇の影響を受けず円安が進みました。業種別では東証33業種で、保険業、倉庫運輸、サービス業が騰落率上位、ゴム製品、電気・ガス業、海運業が下位となりました。

当マザーファンドは、月間で▲0.64%の下落、投資先30銘柄中15銘柄が値上がり、15銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+1.45%、日経平均株価は+2.85%の上昇となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、97.3%と前月比+2.1%の上昇となりました。個別銘柄の月間騰落率では日立製作所+11.52%、信越化学工業+6.54%、日東電工+5.96%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、KADOKAWA▲20.48%、資生堂▲7.70%、マキタ▲5.63%となりました。当月、上場来高値を更新した銘柄は2銘柄、年初来高値を更新した銘柄は4銘柄ありました。当ファンドの組入銘柄数は先月に続き30社となっています。

6月の株主総会では、アクティビストなどからの株主提案が増加し、財務面で増配や自社株買い、ガバナンス面で取締役の選任などの提案が増えました。こうした株主からの要請やJPX（日本取引所グループ）からの要請を受けて、企業側の資本コストや株価を意識した経営に進展がみられています。こうした変化は、中長期的な株価の上昇要因でもあります。私たちは、創業時からこうした論点を企業側と対話を続けてきました。引き続き、丁寧な調査・運用を継続していきます。NISAの成長投資枠の対象となっている国内アクティブファンドである当ファンドをどうぞよろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

■ (6856) 堀場製作所

6月26日にびわこ工場で開催されたIR Dayに参加しました。IR Dayの前半は、今期からスタートする5カ年の中期経営計画「MLMAP2028」について、エネルギー・環境、バイオ・ヘルスケア、先端材料・半導体の3つのフィールドの事業戦略に加えて、人財戦略、サステナビリティ戦略の説明がありました。これまでの自動車、環境、医用、半導体、科学の5つのセグメント制から、3つのフィールド制に組織が再編されます。冒頭に「MLMAP2028」のリーダーとして計画全体を統括する堀場 弾氏（堀場 厚会長のご子息）より、中期経営計画の位置づけや3つのフィールドの枠組み、運営体制や経営目標など全体的な説明があり、その後、各フィールドの責任者等から事業戦略、注力領域などの説明がありました。

後半はびわこ工場内の見学です。びわこ工場では自動車メーカー向けなどの「エンジン排ガス測定装置」や、工場、発電所、ごみ処理場向けの「煙道排ガス分析装置」などを中心に生産しています。また工場内には“E-LAB”と呼ばれている最先端の自動車試験設備がありますが、**再生エネルギーの利活用に欠かせない水素関連の需要にも対応出来るよう、設備の試験用途等に柔軟性を持たせていることを再確認することが出来る**など、とても有意義な見学会となりました。

堀場製作所の今期計画は、増収増益で過去最高の業績を更新する見通しです。新たな3フィールドでの事業進捗を確認しつつ、中期経営計画のスタートの状況をしっかりと見極めていきたいと考えています。

シニア・アナリスト 末山 仁

■ (3407) 旭化成

先日、旭化成の静岡県富士地区の見学会に参加し、研究開発拠点と、半導体材料などを扱うデジタルソリューション事業の生産拠点を見学する機会を得ました。研究開発領域では、窒化アルミ（AlN）化合物半導体や、非加熱・非加圧圧縮ソリューションといった、今後の事業化が期待される新しい研究開発テーマを紹介していただき、住宅総合技術研究所では試験設備を中心に見学する中で、「ヘーベルハウス」ブランドの競争力の源泉となる技術や取り組みについての理解を深めることができました。

当社はこれまで、研究開発の取り組みについてそこまで積極的に発信していない印象でしたので、**今回のこのような機会は大変貴重で有意義なもの**でした。デジタルソリューション領域では、感光性絶縁材「パイメル」の製造工場を見学するとともに、事業戦略についての詳細な説明があり、2030年近傍には売上高3,000億円程度を目指すという意欲的な目標が示されたことも好印象でした。

シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介

■ (8058) 三菱商事

三菱商事の2025年3月期は中期経営戦略2024（2023年3月期～2025年3月期）の最終年度となり、この3年間の当期利益累計は3兆947億円となる見込みです。**前中期経営戦略（2020年3月期～2022年3月期）の当期利益累計（1兆6,454億円）と比較して大幅に増加する見込み**です。

なお、2025年3月期の当期利益について、会社側は2024年3月期とほぼ同水準の9,500億円を計画しています。今年度は、主力事業の一つである原料炭事業の生産能力回復・安定化策などを始めとする「基盤固め」、実行中の投資案件が利益貢献を始めるまでの「助走」、さらなる投資の「仕込み」、などの時期に当たります。2025年3月期の株主還元については、一株当たり100円に増配を計画（前期比30円増）、累進配当制度は維持します。総還元性向40%を目処とするなかで、市場期待などを踏まえ、配当と自己株式取得のバランス見直しを実行する考えです。

シニア・アナリスト 上野 武昭



こどもトラストセミナー「資生堂企業資料館とアートハウスをめぐろう！」@静岡県

6月1日(土)にこどもトラストセミナー「資生堂企業資料館とアートハウスをめぐろう！」を開催しました。今回は、静岡県掛川市にある施設が会場です。掛川駅から車で5分ほどで到着です。

なお、当セミナーは静岡銀行と一緒に企画し、静岡銀行のお客さまが参加されました。施設周辺にお住まいのご家族だけでなく、遠方からもお越し頂きました。



おかねの4つの使い方を勉強します

静岡県での開催は初！ということで、まずはおかねの教室からスタート。

おかねの4つの使い方や「投資」についてのお話をさせていただきました。

- ・おかねを成長するものに変えておくと自分のおかねも増える
- ・みんなの企業を応援する気持ちが投資になる

はじめて知るおかねの使い方を、しっかりメモを取りながら聞いてくれました。

今回は投資の方法についても少しご紹介。

コモンズが投資をするときに大切にしているひみつのレシピや、**自分の代わりに投資をプロに任せる**こともできるということをお話しました。

その後、見学ツアーに出かける前に「資生堂」についても学びました。

資生堂は、昔から「美しさ」を研究し続けていること、世界中の人々に利用され企業としてもグローバルに活躍していること、みんなが健康で幸せになれる世界をつくっている企業だということをお伝えしました。

アナリストの原嶋からも、「**資生堂は化粧品をつくる会社の日本代表。でも世界ではまだ金メダルではないんです。これからもコモンズ投信は、資生堂が金メダルを取れるように応援を続けていきます。**」と投資を続ける理由をお話させていただきました。

さあ、ここからはいよいよ**企業資料館&アートハウスツアー**です。企業資料館の館長さんにみんなについていきます！

資生堂は化粧品を製造する企業というイメージですが、同時に**世の中の「流行」をつくってきた企業**でもあります。

館長さんが「資生堂は、化粧品をつくるだけでなく、みんなも大好きなクリームソーダを日本ではじめてお店に出したんだよ。」とお話すると、こどもたちも驚いた様子。

当時まだ珍しかったソーダ水製造機やアイスクリームを、アメリカから取り寄せ日本で初めて資生堂が提供したそうです。

常に流行を追う「ハイカラな資生堂」というイメージは、実は化粧品以外の分野から生まれたものだったのですね。



昔の歯磨き粉に興味津々

たっぷり企業資料館を楽しんだ後は、同じ敷地内にあるアートハウスへ移動。日本の芸術の伝統を現代に再現した、絵画や工芸を親子で鑑賞しました。



ご参加の皆様との集合写真

こどもたちは、資生堂のシンボルである花椿を見つけるミッションにチャレンジ。コモンズのメンバーはなかなか見つけることができず、こどもたちにこっそり教えてもらいました・・・

近現代のすぐれた美術品に触れることができた貴重な機会となりました。

最後は、「長く地域の環境に貢献し、風雪を耐え、美しく維持され、社会に対して建築の意義を語りかけてきた建築物」と高く評価をされているアートハウスの建物の前で集合写真を撮り、解散となりました。

資生堂の伝統と革新の精神をまるごと体験したツアー、ご参加いただいたみなさまありがとうございました！！

マーケティング部 森田 菜月



ちょっといい話

【新紙幣に渋沢栄一登場】

7月3日、お札が変わり、生涯において500もの企業設立などにかかわり、“日本近代社会の創造者”と言われる渋沢栄一の肖像が新一万円札に選ばれました。弊社会長の渋澤は、ちょうど、下記のコラムを書いています。

○渋澤コラム

「よく集むるを知りて、よく散ずることを知らねば、その極、守銭奴（しゅせんぬ）となるから、今日の青年は濫費者（らんぴしゃ）とならざらんことを勉むると同時に、守銭奴とならぬように注意せねばならぬのである。」

いきなり堅苦しいお説教と感じたでしょうが、無理ありません。100年以上前の言葉ですから。

この考えを当時の世間に訴えたのは、渋沢栄一。

7月3日から新一万円札の肖像として日本各地に流通される歴史上の人物です。

もし本人が現在に蘇ったら何を言うのでしょうか。

私の高祖父（おじいちゃんのおじいちゃん）であります、もちろん会ったことはありません。だから上述のように本人が残した言葉などから想像するしかありませんが、立腹して声を荒げるのではないのでしょうか。

「ワシは、暗いところが嫌いじゃ！タンスに入れたままにしないでくれ！」と。

もちろん、お金を乱費することを栄一は推したわけではありません。

一方、お金をため込むことばかりに執心する、つまり「守銭奴」になることもダメであると考えていました。

つまり、お金を集めるだけでなく、**そのお金が社会に清く循環すること**を期待していたのです。

その循環の流れの原動力によって、一部の階級層だけでなく、社会のみんなが豊かになる。そんな新しい時代の日本を実現させることに尽力していた人物です。

栄一が、当時ではスタートアップに過ぎなかった、日本初の銀行を創立したときに用いた表現は「**一滴一滴が大河になる**」でした。

この一滴一滴とは、一人ひとりの懐に入っているお金だけでなく、一人ひとりの想い、一人ひとりの行いという人的資本も含んでいました。

つまり、財務的資本の滴と人的資本の滴が寄り集まり、大河のように流れ始めれば、日本の新しい時代を切り拓くことができる。

これが、渋沢栄一自身が描いていた「大河ドラマ」でした。

15年ぐらい前、仲間たちとコモンズ投信を立ち上げた時に応援してくれた共通の知人から指摘されたことがあります。「**これって、栄一さんがやっていたことですね**」と。

もちろん、「いやいや、そんな壮大なことではない」とお答えしました。

ただ、確かにコモンズ投信の設立理念は「今日よりも、よい明日」を目指すお仲間（受益者）が集まる「コモン・グラウンド」を築くことでした。

所詮運用会社なのに随分と堅苦しいあとの印象があるかもしれません。

コモンズ投信はまだまだ「大河ドラマ」級にはなっていません。

しかし、今までのコモンズのストーリーは、大勢のコモンズのお仲間みなさんと築いてきたことに間違いありません。

そしてこれからもコモンズのドラマづくりは続行いたします！

新しい時代の到来ともいえる、新紙幣の切り替え。私たちも気持ちを新たに頑張ります。

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗





未来がはじまる場所になる。

第10回目：コモンズ投信（現・静岡銀行 デジタルチャネル営業部） 森田 菜月さん

当ファンドの投資先企業である、しずおかフィナンシャルグループ（以下：しずおかFG）における取組みを紹介するコーナーです。

コモンズ30+しずぎんファンドは、環境の変化やグローバルな競争が激しい時代を乗り越え、豊かな生活と地域社会への貢献を目指す未来志向な地域金融の実現を、地域の金融機関への投資を通じて目指すファンドです。

「未来がはじまる場所になる。」をスローガンに掲げる、しずおかFGが地域の明るい未来に向けてどのようなマテリアリティ（取り組むべき重要課題）に取組み、社会価値の創造と企業価値の向上の両立の実現に向けた挑戦を続けているのか、しずおかFGの従業員の皆さんとの対話を通じてご紹介していきます。

第10回目は、【コモンズ投信（現・静岡銀行 デジタルチャネル営業部） 森田 菜月さん】です！

Profile：沼津支店→静銀ティーエム証券（出向）→東部カンパニー→コモンズ投信（出向）→デジタルチャネル営業部

福本：しずおかFGで働く中で大切にしてきた想いを教えてください。

森田さん：「**資産形成の楽しさを広く伝える**」。これは、私がどんな業務でも大切にしてきた想いです。新入社員のころ、初めてお客さまに資産運用のご提案をするため、とにかくがむしゃらに取り組んだことが原点となって今に繋がっている気がします。

当時、投資をはじめて行うお客さまに積立投信をご案内したことがあります。期待と不安が入り混じりながらスタートいただいた積立でしたが、運用会社がどんな考えで企業に投資をしているのか、お客さまが思い描いている人生に近い投資哲学のファンドを見つけてお話をすることを意識しているうちに、お客さまがご自身で勉強を始められ、「この銘柄はどうなの？」と質問いただけるほど興味をもってくださるようになりました。かれこれ8年ほどのおつき合いになりますが、今では個別株や外国株への投資も楽しめるまで知識や関心を高められおり、私も負けずにもっと勉強しなければと思わされるお客さまになりました。



こども向けセミナーの講師をしました

投資をはじめめるきっかけは皆さんそれぞれだと思いますが、その**きっかけづくりを提供するのが私の役割**だと思います。新NISAの普及が進むなかで、成人はもちろん、子どもからお金について学ぶことは重要です。お金と向き合う、最初の接点を作る仕事をしていきたい。これが、働くうえで私が大切にしている想いです。

福本：森田さんは静岡銀行からコモンズ投信への初めての公募による出向者です。こういった目的・考えがあって応募されましたか？

森田さん：入社当初から、自分なりに良いと思う投資商品の研究を欠かさずに行っていましたが、同時に「『長期投資』という言葉だけが独り歩きしているのでは」というモヤモヤとした思いを抱えていました。そうしたなかで、「売却を前提としない」哲学をもつコモンズ投信のファンドと出会い、「**真の長期投資とはこれだ！**」という手ごたえを感じました。

長期投資ができるようになれば、値動きを見てハラハラドキドキする必要がなくなります。投資に詳しい方はギャンブル的な楽しみ方があるかもしれませんが、**自分の人生を豊かにするための投資を求めている方には長期投資がぴったりだ**と思います。そんな考えが自分の中で確立しつつあり、コモンズ投信でさらに学びを深めたいと思い、公募に手を挙げました。



学校でも金融教育を行いました

開催するセミナーでは投資先企業の方をお招きして話をうかがったり、実際に訪問することで、投資を通じて自分がどう社会に関わることができるのか、どう未来を変えていくことができるのかを体験します。目には見えない長期的な価値創造のストーリーを、大人だけでなく、子どもにも届けて共感を生み出すことができました。

こうしたストーリーへの共感、**地域においても必要なこと**です。最近も、静岡で「こども投資イベント」を開催しました。地域企業の取り組みを知ることや、活動を応援することは、地域の未来を創るきっかけにもなります。コモンズでの経験を活かし、静岡の皆さんに、投資を通じて実現できることを広く伝えていきたいです。

福本：コモンズ投信で取り組んだこと、注力したことを教えてください。また、こういった共創が生み出したと思いますか？

森田さん：長期投資を学ぶうちに、より幅広い層の方々に投資の魅力を伝えたいと思うようになりました。

最初は、販売会社向けの勉強会や職域セミナーなどで、長期投資の魅力やそれを体現する「コモンズ30ファンド」の説明を担当していました。そして、徐々に学生向けセミナー、子ども向けのおかねの教室などに領域を広げ、**さまざまな講師を担当**させていただきました。

コモンズ投信では、株価の変動やマーケットといった目に見える情報を解説するだけでなく、その裏側にある投資先企業のストーリーや、どんな価値が創出され、社会につながっていくのかを伝えることをとても大切にしています。



静岡で「こども投資イベント」を行いました

福本：出向を経て、これから銀行で取り組もうと考えていることを教えてください。

森田さん：コモンズでの活動を通じて、金融経済教育の普及に携わりたいとの想いが一層高まり、現在、しずおかFGの社内ベンチャー制度を活用して新規事業開発に挑戦中です。金融経済教育は学校の教育課程にも導入されたように、誰にでも必要な要素です。**未来世代に、楽しく学んでもらい、自然と「自分にも、社会にも良い」お金との向き合い方ができるような仕組みを考案中**ですので、ぜひご期待ください！



これからも頑張ります！

福本：最後に意気込みをどうぞ！

森田さん：コモンズ投信では、子どもたちに「自分の選択がより良い未来を創る」ということをいつも伝えてきました。これは、決して難しいことでも、大それたことではなく、**何事も長期視点でとらえて、「より良い未来はどちらだろう？」と考えることが大切**だということです。

今後も、こうした視点をもって、資産形成を広める新しい仕組みづくりに取り組んでいきたいと思っています。

取締役マーケティング部長 福本 美帆



販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会			
		一般社団法人 日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
静銀ディーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社 SBI 新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	

当ファンドは、NISA制度における「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク

当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

為替変動およびカントリーリスク

外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料

販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。

換金手数料

ありません。

運用管理費用（信託報酬）

ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。

信託財産留保額

ありません。

その他の費用・手数料

当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル16階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-5860-5706
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>